

「液体クロマトグラフィー/質量分析法による下痢性貝毒の一斉分析法についての研修」に参加して

韓国の国立水産科学院では1991年からマウス毒性試験を用いて沿岸に発生する下痢性貝毒モニタリングを行ってきました。しかしながら、マウス毒性試験にはいろいろな問題点があり、韓国の国立水産科学院では、LC-MS/MS法を用いた下痢性貝毒のモニタリングを計画し、今年、分析機械も購入しました。

本研修の目的は、貴研究所で開発した液体クロマトグラフィー/質量分析法（LC-MS）による下痢性貝毒の分析法を習得して、韓国での下痢性貝毒の調査研究に活用したいと思っています。予想通り、LC-MSはマウス毒性試験とは比較できないほど少ない試料量でも分析が可能であり、分析にかかる時間も短く、高感度であることを確認しました。将来、東北区水産研究所との共同研究も検討しています。

最後に研修期間中、いろいろと親切にして下さった所長さんを始め、部長そして鈴木博士に感謝いたします。いろいろとお世話になりました。心から感謝申し上げます。

国立水産科学院 食品衛生チーム 金 知会